

見沼中学校区における学校再編成に関する説明会 会議録（荒木・地域）

- 1 開催日時 令和2年11月21日（土）午後2時～午後2時35分
- 2 開催場所 荒木公民館ホール
- 3 出席者 32名
- 4 教育委員会 鈴木教育長
 学校教育部 吉田部長、荻原参事、諸貫次長
 学校教育課 須永主幹
 教育総務課 上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼

5 会議内容

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
鈴木教育長	2 あいさつ
鈴木教育長	3 意識調査の結果及び今後の方向性について
出席者	4 質疑 教育委員会として具体的な計画は発表できないという事だが、ある程度は出来ているのか。
鈴木教育長	現段階は保護者の意見を聞くという事で進めていく。
出席者	20年近く前から合併問題は出ていた。その間、市長を含む教育委員会は何をやっていたのか。子供達の事を考えてやっているのかと怒りを感じていた。延々と続いていて、今日まできている。教育委員会に限らず市の行政の進め方は、物事の結論を出してしまっ、こうだから従ってくれという結論ありきである。今回の義務教育学校も先に地元と相談したか。私も傍観者的に見ていたが、義務教育学校に対して教育決意がない。哲学理念が住民の皆さんに知らせてないし、書いていない。そういった事も知らせないで一貫校で決まったから従ってくれというのは、上位下達精神でとんでもない話である。こんな行政だったら、いくら経っても地域は伸びない。行田市が消滅都市になる典型的な例。行政の在り方も問題。長野県の過疎になっている小さな村に東京から1ターンで新しい子供達が来ている。そういった事を行田市は何もやっていない。縦割りでなく、横断的な行政をしてほしい。今回、一貫校は廃止にするという話だが、3校をどう立て直して、何年度にやるのか目途はないのか。子供達の事を考えてやって欲しい。こういった難しい問題は

	<p>地元とよく話し合ってもらいたい。もう一つ大事な事は熱意。自分の仕事に対して情熱と信念、愛情を持ってやってもらうこと。それを前面に押し出せば皆ついていく。子供達の事を考えれば、少なくとも数年のうちには解消して1つの学校に統合するべき。通学については、今のバスを編成しなおして、登校や下校に合わせて循環バスをダイヤ改正するなど、難しい問題はより単純明快に結論を出すのが正解。今みたいな行政の在り方では、民間ではとっくに潰れている。もう少し情熱や愛情をもってやってもらいたい。よそからも行田は素晴らしい所だと聞こえて来れば、移住者も増えてくる。早急に両方が妥協できるようにしてほしい。</p>
出席者	<p>今は意見を聞く段階という事だが、例えばどこの校舎を使うであるとか、どのように解消していくとか、基準はどうするのかとか決める事はたくさんあると思うが、半年後には令和3年度が始まってその一年後という事を考えると、令和4年というのはかなり早いと思う。教育委員会として意見を聞く段階の次について、全くビジョンがないのか、どの段階で保護者に通知や報告が出ていくのかというのがないと、後手後手になってしまって、地域や保護者の不安が大きくなっていくと思う。現段階では何も言えない状況なのか。</p>
鈴木教育長	<p>スケジュール的なものは令和4年4月の事しか申し上げられない。今、各保護者に聞いている中で、一度決めて駄目になってしまうような、ブレてしまう事がないようにと意見を頂戴している。目の前に差し迫って、各保護者の学校再編の認識も深まって、真剣に考えている所だと思う。まずは、子供達にとって安全でより良い環境が作れるかについて、意見を頂戴した上で、皆さんが納得できるような方向性を出した上で、計画を作りたいと考えている。今の段階だと、意見を頂戴していくという考えである。それに関しては、このような説明会だと意見が言いにくい保護者もいると思うので、例えばPTAとか色々な機会をとらえて、保護者の意見を頂戴できればと考えている。</p>
出席者	<p>話を聞いていても流動的という感じを受ける。住民の安全も大事で、以前タウンミーティングで話をしたが、荒木の体育館が避難所になっていて、その時の教育長の答えは、トイレが小さいから拡張すると話だった。ハザードマップを見ればわかるが、この辺は大きな水害が起きれば体育館の1階は水浸しになってしまう。2, 3階の教室の開放をすれば、トイレもある。再編がどう転ぼうか、教室を避難所に使える様に、行田市がモデルになるように教育長からアピールしてほしい。鍵は自治会長に預けて、使ってくださいと言うべき。そうしないと荒木地区は全員死</p>

鈴木教育長	<p>んでしまう。去年、一昨年の台風の際は、危機一髪だった。水上の方に台風の雨があと半日降っていたら決壊していた。たまたま台風がそれで、影響がなかった。建屋で頑丈な所を避難場所として使えるように教育委員会で主導をとってやってもらいたい。</p>
出席者	<p>現段階で2階以上の教室も避難所として使えるように学校には指導をしている。皆さんに届けられるように広報していく。まだ決まっていることではないが、防災倉庫にあるものも水につからないように学校の2階以上に移動する計画もある。市民の皆さんが安全に避難できるように計画はしている。はっきり決まったら各家庭にお知らせする。</p>
出席者	<p>早めにしてもらいたい。北小は変電所が屋根の上にある。市庁舎の地面にキューピクルがあって、周りを防水壁で囲むか上にあげるように話したことがあった。荒木小や見沼中は見えていないが、そういった改修も含めて教育委員会で考えてもらえば、より安全に避難行動ができるようになる。</p>
出席者	<p>義務教育学校の断念の事後処置はどう考えているか。その1つに市報10月号に義務教育学校をやると載っていたが、全市民に渡って、知ってもらっている。今回、断念という事なので10月号に記載している内容と変わるので、今度は変わりましたという事を市民全体に周知する必要があるのではないか。それはいつ頃、どのような形で周知をする予定なのか。また、総合振興計画の中にも義務教育学校の記述がある。それは変わるとなるなら、どのように記述を変えていくのか。</p>
鈴木教育長	<p>市報については、白紙になったという記事が12月号に載る。総合振興計画は、見沼中学校区では断念となったが、市全体では条件がそろえば、今後、義務教育学校を設立できる事もあるので、記述の内容は協議を進めていく。</p>
司会	5 閉会